

優秀学生表彰者

★成績優秀（各学科1名）★

環境政策学科：

若松 亮太
(わかまつ りょうた)



鳥取環境大学での4年間は、生涯忘れることのできないものになったと思います。勉学など苦労した点も多くありますが、間違いなく楽しい出来事の方が多かったです。そして、この充実した4年間を支えてくれたのは、友人や家族だけでなく、大学関係者の方々や地域の方々です。この場を借りて感謝の意を捧げたいと思います。

環境デザイン学科：

石脇 和
(いしわき かず)



これまでの経験一つひとつがあったからこそ今の私があるのだと思います。大学四年間の中で出会えた人たちは、一人ひとり素敵な人生を歩んでいて、目標にしたい人ばかりでした。これからはそんな人たちに少しでも近づけるような生き方をしていきたいです。

情報システム学科：

新野 哲平
(にいの てっぺい)



4年間頑張ってきたことに対してこうして表彰していただけることに感謝しております。たくさん学んで、たくさん遊んだ結果がこうした成果を生んだんだと思います。時には遊びを我慢して学びました。逆に勉強するのを止めて友達との誘いに乗ったこともあります。両者のバランスを上手く保ちながら送ることができた大学生活は一生の思い出です！

★課外活動★（クラブ等課外活動で活躍した学生です！）

鳥取環境大学公認団体 弓道部 副部長

石橋 遼

(いしばし はるか)

< 環境政策学科 >

大学生生活は弓道中心の4年間だったけど、勉強以外の大切な事はここで学びました。環大弓道部・万歳！！（笑あと、恥ずかしくて面に向かっては言えないので、ココでこそり…お母さん、大学に行かせてくれて本当に感謝しています。たくさんの素敵な出会いがあったよ。すごく幸せな4年間でした、本当にありがとう。



一緒に頑張った仲間と後輩達。夏の合宿にて… 2005年9月（前列右から3番目）



私の尊敬する先輩方です。本当にお世話になりました！！



2年生のとき 3代目メンバー勢揃い（左から3番目）



弓道部三代目の仲間です。左から、浦木くん、書記兼マドンナ：井上さん、主将：山下さん、副将：私です。

バスケットボール競技

鹿児島 由美

(かごしま ゆみ)

< 環境政策学科 >



あつという間の4年間でした。その中で、バスケットを続けてこられて、良かったと思います。周りの人達には、たくさん迷惑をかけたかもしれませんが、協力してもらったこと、とても感謝しています。本当にありがとうございました！！



平成17年10月 おかやま国体での集合写真。（右から4番目）



第60回国民体育大会バスケットボール競技（女子）
平成19年2月 高知県で行われた『龍馬杯』。
☆初優勝☆記念。（後列右から3番目）

鳥取環境大学公認団体 ヤギ部 部長

溝部 進也

(みぞべ しんや)

< 環境政策学科 >



一年生の時の文化部会会長から始まり、新歓、選挙管理委員会の代表、執行部、ヤギ部の部長等々、沢山の活動をこの大学でさせていただきました。活動を通して、色々な人と出会い、語り、一緒に企画を作っていく中で、自分の考え方が、変化し、また形成されていきました。大学で形作られた自分をしっかり持って、どんな時も笑顔で過ごせるようがんばります。



2004年8月夏のオープンキャンパスでのヤギ部活動中の写真。当日はとても暑かったので、しばしばプールで洗いながら涼をとっている所です。（真ん中）



2004/4/10 新入生を迎える初活動の日の写真です。ヤギ部に関連深い裏山を探索しながら、ヤギ部の活動について学んでもらっている所です。（一番左）

鳥取環境大学公認団体 環境部 部長

足立 純一

(あだち じゅんいち)

< 環境政策学科 >



大学では、積極的に自分が「おもしろそうだな！」と思ったことや、興味を持ったことにはどんどん参加して来ました。結果、全部が中途半端になったり、掛け持ちしすぎてきつくなったりしました。しかし、そうやって失敗を惜しまずにやったからこそ、自分の進む道と言うものははっきりしました。在校生は、一人で何も知らない中に飛び込むという事はすごく勇気のいることだけど、結果なんて後からついてくるから、どんどんいろいろな事に挑戦して自分の可能性を高めてほしいです。



2004/11/13 砂丘。『砂丘自由楽園』のイベント中の一コマです。一通りのイベントが終わり、自由時間でみんなでドッチをしています。（さてどこでしょう？）



<2005年9月ごろ 岩美町立町民いの里にて>
NPO 法人岩美自然学校の企画でみんなで1泊2日のキャンプしました。班ごとに分かれてゲームをしてカレーの具材を争奪しました。みんな燃えていました！

鳥取環境大学公認団体 FM-Tottori.com/学生番組制作プロジェクト 部長

草間 義勝

(くさま よしかつ)

< 環境デザイン学科 >



足掛け3年間の活動を通して、コミュニティーFM局の開局という非常に大きなプロジェクトにほんの少しでも関わったのは、一生忘れられない体験と出会いばかりでした。また、FM 鳥取で活躍されている中原さん、幸田さん、山下さんには、学業や卒業研究の面でも相談にのっていただきました。本当にありがとうございました。



コメンター。写真右から、由宇、安田（鳥取大学）、草間。



安田大サーカスさん取材させていただいたということで1枚。（右から2番目）



優秀学生についての推薦理由等詳細は、式次第と同時配布する資料にありますので、是非ご覧ください。

優秀学生表彰者

★社会活動★（学外での社会活動において顕著な功績があった学生です！）

通訳ボランティア、高砂屋「城下町とっとり交流館」
（旧池内邸）指定管理者 代表者

砂川 るい子
（すながわ るいこ）
< 環境政策学科 >（篠原ゼミ）



<高砂屋>

鳥取市の指定管理業務を請け負って、篠原教授及び友人にたくさん助けられました。この賞は関わって下さった皆で手に入れたものです。有難うございました。



掃除は大変！！（イス持つ左側）



スタッフはビジュアルも最高。
〔後列一番左〕

次世代会議 主宰
稲見 唯睦
（いなみ ただちか）
< 環境政策学科 >



ポスターを（色々）沢山つくりました。これはドン西河の作品。

ポチポチと新聞に載りました。これは毎日新聞・小島さんの作品。

おかげさまで良い活動や良く成長できました。ありがとうございます。多くの方々が成長のための階段（試練・機会）を与えてくれました。この階段を越えることによって、過去より現在の方が成長することができました。これは多くの方々のご支援・ご協力のおかげでもあります。ありがとうございます。感謝しています。



★アクティビティ★（本学の活性化に大きく貢献した学生です！）

鳥取環境大学公認団体 ヤギ部
持田 敦子
（もちだ あつこ）
< 情報システム学科 >



よくヤギ子と二人で無言の会話をした。部員と夜中まで語り合った。（真ん中）



一期生3年目の忘年会。有名人揃い。今、会っても同じ様に語り合える。（右から3番目）

今、思う。卒業は遠い目標だった。卒業を目の前にやり残した事はばかりが考えられる。何度かつづき、何度かあきらめそうにもなった。妙な言い方だが、自分の卒業を自分自身が期待するような気持ちになった。答えの出ない課題に途方にくれる日も続いた。時間は必要としたが、「初志完結」出来た事と様々な出会いに心から感謝する。40才を過ぎてからの大学生活は、決して平坦な毎日ではなかったのだが、入学当時を共にした一期生の変わらぬ励ましと先生方並びに周囲の方々の叱咤激励のお蔭で中途退学することなく卒業出来た。これをゴールにすることなく学んだ事を役立てよう残りの人生を考えたい。

鳥取こどもまつり実行委員会 副会長、
鳥取環境大学クラブ会 会長他
鈴木 康照
（すずき やすてる）
< 環境政策学科 >



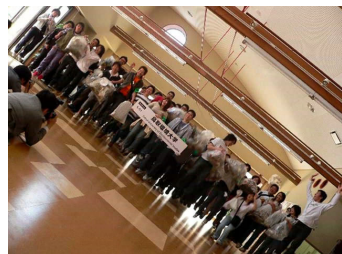
<こどもまつり実行委員会>
平成18年度実施のこどもまつり実行委員会にて、副会長として会を運営している様子（ホワイトボード前の白いシャツ）



<平成17年度ITクラフトマンシップ事業>
平成17年度実施のマインカー製作教室にて、参加者への対応の様子（左側）

ここには書ききれない多くの活動が、先生方や学友たちに助けられることで行えた感謝しています。悔いのない卒業を迎えることができました。いま、大学が学生の方を向くことで大学の「学生と距離感の近い大学」という魅力が生まれています。この魅力がある限り、今後の後輩の活発な活動と大学の継続する力になると信じています。

学生会会長、学生 ISO 委員会所属
岩本 淳一
（いわもと じゅんいち）
< 環境政策学科 >



『日本列島を軽くしよう！』というイベントの写真です。



2004年度新入生に対するISOレクチャーの写真です。

私は、この4年間、たくさんの活動をし、たくさんの仕合せをつかみ、たくさんの幸福を感じました。たくさんの人に会えた事は、本当に仕合せであり、幸せだと感じています。皆さんもたくさんの活動をして、たくさんの仕合せをつかみ、幸せを感じてください。最後に、私に接してくれた皆様、ありがとうございます。

キャンパスリユース実行委員会代表
益田 雄一郎
（ますだ ゆういちろう）
< 環境政策学科 >



寺子屋一地域の子供たちが夏休みの宿題を大学生と一緒に頑張りました。



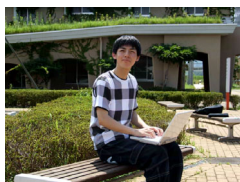
リユース卒業生から回収した家具家電などを、破格の安さで新入生や地域の方にご提供。

挑戦したい。成長するための経験をしたい。自分の力を試したい。こんな考えから様々なことをやらせてもらいました。出会いに恵まれ、仲間にも助けられながら色々なことをやってこれました。本当に感謝。やりたいことがあったらやっちゃいましょう。『覚悟』さえ決めたら案外何でも出来るもの。アナタも自分を試してみませんか？

情報処理技術者試験
「ソフトウェア開発技術者」取得
新野 哲平
（にいの てっぺい）
< 情報システム学科 >



先生に論文のダメ出しをいただいている1コマです。その後なんとか論文を完成させることができました。（右側横縞の服）



メディアセンター前のベンチで一枚。メディアセンターは学生証がボロボロになるまで利用しました。

一人暮らしが始まって毎日欠かさずつけてきた家計簿のページがなくなると同時に卒業迎えることになりました。最初のページに書かれた「2003年4月1日」の文字を見ると、4年間という時間が経ったことを知らされると共に楽しかった思い出がありありとよみがえってきて、周りの人々への感謝の気持ちで一杯になります。



優秀学生についての推薦理由等詳細は、式次第と同時配布する資料にありますので、是非ご覧ください。